

# 会 議 録

会 議 の 名 称	平成26年度 第2回 岩城まちづくり協議会
開 催 日 時	平成26年10月22日(水) 午後6時30分～午後7時50分
開 催 場 所	岩城総合支所 講堂
出 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
【会議次第】	
1. 開会	
2. あいさつ	
3. 議事	
(1)新創造ビジョン基本構想・骨子案について	
(2)地域振興・建設部会の提言書(案)について	
(3)その他	
4. 閉会	
会 議 の 経 過	別紙のとおり

◆出席者名簿(敬称略) (出席委員:16名)

役 職 氏 名	出欠(○・－)	【行政出席者名簿】
会 長 三浦 稔	○	総合政策課長 原田正雄
副会長 伊藤あさ子	○	総合政策課課長補佐 柴田浩樹
委 員 齋藤隆一	○	岩城総合支所長 吉尾清春
委 員 今野正彦	○	市民福祉課長 高野正昭
委 員 佐々木了三	○	産業課長 伊藤秀穂
委 員 小林理恵子	○	建設課長 菊地和人
委 員 今野廣一	○	教育学習課長 小松保子
委 員 工藤喜美子	－	事務局 振興課長 田口民雄
委 員 和田保子	○	事務局 振興課 竹内富士夫
委 員 藤原淳子	－	
委 員 早川あけみ	○	
委 員 齋藤修一	○	
委 員 吉田誠一	○	
委 員 佐々木裕三	○	
委 員 田口直樹	○	
委 員 伊藤久美子	○	
委 員 佐々木悟	○	
委 員 今野ひとみ	－	
委 員 鈴木竜太	○	
委 員 高橋 修	○	

## 平成26年度 第2回 岩城まちづくり協議会

平成26年10月22日(水)

午後6時30分 開会

1. 開会(進行:振興課 竹内)

定刻となりました。ただ今より平成26年度第2回岩城まちづくり協議会を開催いたします。

2. 三浦会長あいさつ

吉尾岩城総合支所長あいさつ

3. 議事(振興課 竹内)

議事に入ります前に協議会条例第7条第2項の開催要件に関する報告をいたします。本日の出席委員は16名であり定数19名の1/2以上でございますので開催要件を満たしている事をご報告いたします。また、条例第7条第1項の規定により会議の議長は会長が努めますので三浦会長よろしくをお願いいたします。

○議長

それでは、次第に従いまして議事に入ります。最初に議事の(1)新創造ビジョン基本構想・骨子案について総合政策課より説明をお願いします。

○資料により総合政策課説明。

○議長

ただ今の説明のありました新創造ビジョン基本構想・骨子案について、皆様のご質問、ご意見等がございましたらお話しいただきたいと思っております。どなたかございませんか。

○A委員

P1の市政経営という言葉の意味について。

○原田課長

この次なる10年の計画は、基本構想と基本計画、及び実施計画につきましては1期5年とし、毎年見直すローリング方式によることからそうした意味合いをもっています。

○B委員

P7の少子化については難しい問題だと思いますが、実効性のある、結果の出るものとして進めて欲しい。

○柴田課長補佐

少子化対策につきましては、多子化に転換できるように様々な施策を実施できように進めたいと考えています。

○A委員

P7の「元気な少子高齢化社会を形成すること」の言葉の意味について

○原田課長

少子高齢化社会の形成は市のみならず国や県のこれからの状態を表しており、その中で市では少子化に歯止めをかける政策を展開しながら、更なる高齢者支援策と高齢者のもつ経験や知識、意欲を地域社会で発揮できる環境づくりも進めたいという表現となっています。

○C委員

- ①さきがけ新聞で人口減少に立ち向かう市町村の中で、本市はなぜ入っていないのか。
- ②P8まちづくりの基本理念Ⅲに住民自治と協働の誠心に基づく、可能性豊で自立したまちづくりの中で、市民と行政が協働して～の言葉では一緒に解決していくと理解するのが難しいのですが。

○原田課長

- ①東京都の特別区である荒川区長が提言し呼びかけたものであり、本市は参加していません。

○柴田課長

- ②これは地域と密着したかたちで進めたい意味も持っており、合併協議会で作成しました市民憲章の基本理念であり、10年、20年と継承するかたちで受け継いでいきたいと思っています。

○A委員

P7Ⅱの市民が市全域で生き生きと躍動する新たなまちづくりとありますが、各団体の市のサポートセンター的なものはないのですか。

○柴田課長補佐

地域おこし課ではげんきアップ事業を推進し、各町内会が元気にできる施策を展開しています。また、地域コミュニティサポート窓口を各総合支所に設置し相談できる窓口を設置しています。

○A委員

P3のグローバル化に伴う～の歴史的円高の影響などによりの表現ですが、今は円安ではないですか。

○柴田課長補佐

近年の歴史的背景の一つとして、TDK関連の製造品出荷額が大幅に落ち込んだ時期が、歴史的な円安の影響を受けたという表現で書かれています。

○A委員

P5の2タイトル、本市の重要課題への対策、は市民意向調査によるがその前に付くのではないか。

○柴田課長補佐

P4の大タイトル、「市民の意向・まちづくりへの期待」からの経緯になっているので流れとしてはご理解いただけると思うのですが、これはダイジェスト版ですので本来であればこの3倍くらいの内容が書かれているものですので唐突感があるかもしれません。

○A委員

P9の6行目「例えば」はいらぬのではないか。限定されてないか。

○柴田課長補佐

限定的な表現かもしれませんので見直しを検討します。

○A委員

P10の下段に「転出抑制」という文字が2つも出てくるのですが。

○柴田課長補佐

右端の「転出抑制」を削除した方が理解しやすいかもしれません。

○A委員

P11の重点戦略2の「子どもを産み育てやすい環境の創造」はまちづくり基本政策の5つのどれに当たるのか。

○原田課長

重点戦略4つに対し、まちづくり基本政策が5つあり、一つに対して一つが当てはまるものではなく、それぞれ全体的にまとめた表現として記載していますのでわかりにくかったかもしれません。わかりやすいように精査する必要があるかもしれません。

○A委員

基本構想だけでなく基本計画も示していただきたい。

○原田課長

基本計画は平行して作業を進めている段階です。

○議長

その他ご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

特になければ(1)新創造ビジョン基本構想・骨子案について終了します。

続きまして(2)地域振興・建設部会の提言書(案)について部会長より説明をお願いします。

○地域振興・建設部会長提言書(案)を説明。

○議長

ただ今の説明のありました地域振興・建設部会の提言書(案)について、皆様のご質問、ご意見等がございましたらお話しいただきたいと思います。どなたかございませんか。

○OD委員

①文中の「人が集まるための建設整備～」の建設という文字はいらぬのでは。

②文中の「リーダーとなりえる人への」というのは、特別な人だけを意味するように思われる。

③情報の提供をすることは直接的に人材育成となるのか。

○部会長

①建設と整備の中に中点(・)を入れます。

②リーダーとなる意欲のある人を望むと言う意味です。

③手直しを検討します。

○OE委員

青年会の再構築とありますが、まずは会員を増やすことが大切ではないでしょうか。

○部会長

ゼロからスタートすることになるので、まずは会の核となるリーダーが必要ではないかと考えました。

○議長

その他ご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

「無し」

それでは地域振興・建設部会の提言書につきましては、再度部会で文章を手直しのうえ委員の皆さんへ後日送付させていただき、市へ提言書として提出させていただきます。

特になければ、次の(3)「その他」であります。事務局からあるいは皆さま方から何かございますか。(無し)。それでは、本日の議事についてはこれで終了いたします。これもちまして議長の任を終えさせていただきます。ご協議ありがとうございました。

**【午後7時50分閉会】**